沼津工業高等専門学校	開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	総合英語ＡⅠ

科目基礎情報

科目番号	2021-545	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	制御情報工学科	対象学年	1
開設期	前期	週時間数	4
教科書/教材	Big Dipper English Communication I，必携英単語LEAP		
担当教員	成田 智子		

到達目標

１．テキストの英文を初見で読んで概要をつかみ、英文の内容についての質疑応答、リテリング、要約文作成ができる。　２．相づちで反応したり質問をして日常的な内容の対話をすることができる。３．50語以上の文章で自分の考えを表現できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安(優)	標準的な到達レベルの目安(良)	未到達レベルの目安(不可)
評価項目1　リーディング	初見の文を読解ストラタジーを使って概要を理解し、詳細を学習したのちにリテリングや作文に十分応用できる。	初見の文を読解ストラタジーを使って概要をおおむね理解し、詳細を学習したのちにリテリングや作文に応用することが概ねできる。	初見の文を読解ストラタジーを使って読むことを学習するが、リテリングや作文に応用できない。
評価項目2　スピーキング	会話ストラタジーを使って自分の考えを上手に口頭で伝えることができる	会話ストラタジーを使って自分の考えを概ね口頭で伝えることができる	会話ストラタジーの理解が不十分なため、自分の考えを口頭で伝えることができない
評価項目3　ライティング	学習した語彙、語法、文章校正に関する知識を使って自分の考えを正確に英文にすることができる	学習した語彙、語法、文章校正に関する知識を使って自分の考えを概ね英文にすることができる	語彙、語法、文章校正に関する知識の理解が不十分なため、自分の考えを英文にすることができない

学科の到達目標項目との関係

【本校学習・教育目標（本科のみ）】 4

教育方法等

概要	中学までに学習した英語を確認し定着を促しながら、さらに複雑な内容のインプットとアウトプットががきるための英語力を養成する。4技能をバランスよく身につけるため授業内ではできる限り英語を使用する。初見文の読み方、辞書の引き方、英文構造の特徴を学び、自分の考えを話したり書いたりする力をつけることを目指す。
授業の進め方・方法	授業はおおむね英語で行う。ハンドアウトを使用して様々なタスクを行う。スキミングで初見文の要旨をとり、ペアワークによる質疑応答により詳細情報をとり、語彙・文法の確認と練習問題および短文作文で基礎知識の定着を行い、キーワードを選んでリテリングを行い、要約文を作成する。また帯活動としてペアでの対話で自己表現を行ない、数回のエッセイ作成を通して作文に慣れる。基本的な会話ストラタジーを学び会話の基礎を身に着ける。その他に単語帳で単語や熟語を覚える。語彙習得テクニックを知り、レッスンのトピックによって扱いを変えるため進度は適宜変更する。
注意点	・評価については、評価割合に従って行います。ただし、適宜再試や追加課題を課し、加点することがあります。 ・学生の実情に合わせて各単元のアクティビティを変えるため、進度は各クラスによって異なることがあります。

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	1)オリエンテーション 2)Lesson1	授業の手順を理解し、予習・授業・復習が効果的にできるようになる。英文の概要・語彙・詳細情報・文法を様々な活動を通して理解し、4技能を高めることができる。
		2週	3)Lesson1 4)Lesson1	英文の概要・語彙・詳細情報・文法を様々な活動を通して理解し、4技能を高めることができる。
		3週	5)Lesson1 6)Lesson2	英文の概要・語彙・詳細情報・文法を様々な活動を通して理解し、４技能を高めることができる。
		4週	7)Lesson2 8)Lesson2	英文の概要・語彙・詳細情報・文法を様々な活動を通して理解し、4技能を高めることができる。
		5週	9)Lesson2 10)Essay Writing	英文の概要・語彙・詳細情報・文法を様々な活動を通して理解し、4技能を高めることができる。
		6週	11)Lesson3 12)Lesson3	英文の概要・語彙・詳細情報・文法を様々な活動を通して理解し、4技能を高めることができる。
		7週	13)Lesson3 14)Lesson3	英文の概要・語彙・詳細情報・文法を様々な活動を通して理解し、4技能を高めることができる。
		8週	15)Lesson４ 16)Lesson4	英文の概要・語彙・詳細情報・文法を様々な活動を通して理解し、5技能を高めることができる。
	2ndQ	9週	17)Lesson4 18)Lesson4	英文の概要・語彙・詳細情報・文法を様々な活動を通して理解し、4技能を高めることができる。
		10週	19)Essay Writing 20)Lesson５	英文の概要・語彙・詳細情報・文法を様々な活動を通して理解し、4技能を高めることができる。
		11週	21)Lesson５ 22)Lesson5	英文の概要・語彙・詳細情報・文法を様々な活動を通して理解し、4技能を高めることができる。
		12週	23)Lesson5 24)Lesson5	英文の概要・語彙・詳細情報・文法を様々な活動を通して理解し、4技能を高めることができる。
		13週	25)Lesson6 26)Lesson6	英文の概要・語彙・詳細情報・文法を様々な活動を通して理解し、4技能を高めることができる。
		14週	27)Lesson6 28)Lesson6	英文の概要・語彙・詳細情報・文法を様々な活動を通して理解し、4技能を高めることができる。
		15週	29)Lesson6 30)Communication Stragegy	英文の概要・語彙・詳細情報・文法を様々な活動を通して理解し、4技能を高めることができる。

		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	1	前1,前3,前5,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15

			英語運用能力向上のための学習	関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	1	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15

評価割合

	試験	作文	授業内活動の取組	合計
総合評価割合	40	30	30	100
基礎的能力	40	30	30	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0